



幌建 第 23 号  
平成 19 年 4 月 23 日

国土交通省道路局長 様

幌加内町長 森谷



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

道路行政につきましては、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度の、道路特定財源の見直しにかかる「中期的な計画の作成」にあたり、別紙の通り意見書を提出いたしますので宜しくお願いいたします。

## 中期的な計画についての意見書

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### (1) 道路ネットワークの整備

地方分権、広域行政（支庁再編、市町村合併等）の推進により生活圏、経済圏、医療圏が広域化されるため、さらに道路網の整備を望む。

#### (2) 災害対策における道路政策

数年に1度は、大雨による道路冠水、土砂崩れなどで通行止めとなる。幹線道路が1路線の本町においては、災害発生時に陸の孤島となり、災害対応にも支障をきたすので、迂回路の整備を望む。

#### (3) 交通安全及び冬期通行の確保

幹線国道にかかる橋梁には過去の規格で狭い橋梁がある。1日の交通量の基準により、支障が無いとされているが、大型車同士の交差は出来ず、特に冬期間においては、堆雪があり、小型車同士の交差も厳しい状況にある。交通安全のためにも、幅員の確保を望む。

又、冬期間の峠道で、大型車がスリップして道路を遮断し、通行止めが年に何回も発生する。

路線バス、救急患者輸送路としての路線確保のため、峠の早期改良を含め、安全通行のため道路整備を望む。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

#### (1) 道路整備における規格及び基準

道路整備に対し、全国一律の基準でなく、人家の無い地区においては、歩道の整備はそれほど必要でなく、地域の実情に沿った道路整備が良いのではないか。（例・歩道部分を路側帯として整備し、冬期間の堆雪スペースにする。）

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

#### (1) 地域間格差の是正

都市部に比較すると、山村は人口密度も低く、道路の利用頻度も低くなる。しかしながら、隣接する市町村とは、生活、文化、経済などの交流の繋がりが強く、単に交通量及び対費用効果などで道路整備の可否を決定すべきではなく、災害対策を含め、将来展望に立った道路網の整備を求める。

(2) 冬期間の交通安全のための財源確保

豪雪、寒冷地における除排雪、特に本町における冬期間の道路確保は産業、経済及び住民生活に欠かす事の出来ない課題であり、年間の道路維持管理にかかる費用は、町財政に大きな負担となっている。

道路維持管理経費について、さらに財政措置を望む。